

科目名：災害看護と国際看護 (Disaster Nursing and International Nursing) 履修年次/時期：2 年次 後期 授業形態：講義・演習 主担当教員：中村仁志（14 年間の海上自衛隊実務経験や災害における支援業務、ボランティア活動、防災危機管理者としての学内、学外での活動などから災害看護を実践的に学べるよう授業を構成している。さらに自衛隊横須賀病院教育部からの講師派遣により災害時や国際的な活動などの実際を学ぶ。国際看護については担当教員の海外での勤務経験を活かした講義から学びを深める。） 担当教員：小原聖子 外部講師		必	1 単位 (45 時間)
学修目的	災害看護と国際看護は、現代の災害対策が地域や国内に止まることなく、国際支援や援助をも含むグローバルな考え方が必要であり、自己の生命を守ることから、家族、地域、集団、国民、布いては全人的な看護の意味を知る。さらに防災及び危機管理としての活動や被災時の対応方法を体験学習や演習を通して、医療人としての対応を身につける。 CP2, 3, 6 に関連する。 科目 No. KNz-228		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組み能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	◎
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎：この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○：この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	①災害の分類と政策について述べることができる。 ②災害看護の特殊性と必要性を述べることができる。 ③災害発生時の対応について説明でき、緊急行動ができる。 ④災害による健康被害について説明できる。 ⑤災害発生時のトリアージの内容を述べることができる。 ⑥国・地域・宗教などによる違いを説明できる。 ⑦国際協力および外国人に対する保健医療・看護活動を行う上での留意点を説明できる。 ⑧海外で行うことだけが国際看護ではないことを理解する。		
授業概要	災害に対する政策、災害の分類、災害時・災害後の健康障害やアセスメント、ケアについて学ぶ。また、諸外国における医療情勢や看護の実際について、文化的背景の相違と国際保健の視点から学ぶ。		
評価方法	学期末試験：80% 演習参加度：20% 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		

予習・ 復習時間	【予習】1.9時間 【復習】1.9時間
教科書	系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 看護の統合と実践③ (医学書院)
参考書	授業で配布する資料
問い合わせ 連絡先	中村仁志 9:00~17:00 第3号館3階研究室 h.nakamura@kdu.ac.jp 小原聖子 9:00~17:00 第3号館3階合同研究室 k.kohara@kdu.ac.jp 外部講師には中村あてメールをお願いします。 不在時はメールをお願いします。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	災害医療の基本と概念 ①災害の種類と特徴を述べることができる。 ②特殊な災害(テロリズム・放射線・パンデミック等)について説明できる。 ③災害と災害医療、災害看護について説明できる。	【予習】教科書 P4~13 の①災害看護学と国際看護を学ぶ意義読んでおく。 【復習】災害の種類と関係法規を確認し覚える。 【キーワード】危機管理、パンデミック、赤十字と国際人道法	講義 ○中村
2 (/)	災害の特殊性と災害発生時の体制 ①災害発生時の状況判断を考慮することができる。 ②災害発生時の情報収集と伝達方法を述べるができる。 ③災害発生時の救急チームと役割について説明できる。 ④災害派遣医療チームについて説明できる。	【予習】教科書 P48~51 の⑤わが国の災害医療対応の整備を読んでおく。 【復習】被災者の状況と看護師の行える行動について説明できるようにする。 【キーワード】災害時要援護者、EMIS、DMAT	講義 ○中村
3 (/)	災害時における看護師としての役割 ①災害サイクル各期の看護活動 ②医療施設での役割 ③自宅での役割 ④地域での役割	【予習】教科書 P87~91 の②活動現場別・災害サイクル別の看護活動を読んでおく。 【復習】災害各期の状況と活動の方法を述べられるようにする。自分の状況を想定できる。 【キーワード】災害サイクル	講義 ○中村
4 (/)	災害現場での活動と役割 (演習) ①緊急医療行為(意識の確認・止血・固定) ②トリアージ (トリアージタグ) ③搬送 ④収容	【予習】被災者としての自分の状況を想定してくる。 【復習】演習により実施した手技を練習する。 【キーワード】初期救命・BLS・AED	講義 演習 ○中村
5 (/)	災害時の健康被害 ①災害直後の被害 ②災害後初期の被害 ③災害後後期の被害 災害の看護と減災への取り組み ①被災者の特殊性に応じた看護 ②地域の防災に関連した看護の役割 ③日常からの災害予知行動(KYT)	【予習】教科書 P171~183F 災害とこころのケアを読んでおく。教科書 P30 のCSDATTT を読んでくる。 【復習】災害サイクル各期の対応を説明できるようにする。災害時看護の展開からKYTを身のまわりで考える。 【キーワード】避難所・仮設住宅・こころのケア、ASD、PTSD、MIMMS、	講義 演習 ○中村

		KYT、SDGs	
6 (/)	<p>国際看護学</p> <p>①グローバル化と日本の看護</p> <p>②国際協力組織</p> <p>③国際救援活動（海外緊急援助隊等）</p> <p>④青年海外協力隊</p> <p>⑤国内での国際的看護活動</p>	<p>【予習】教科書 P242～246 のグローバルヘルスの指標を読んでくる。</p> <p>【復習】災害・紛争などによる国際援助と国際保健活動について説明できるようにする。</p> <p>【キーワード】 OECD、ODA、スフィアプロジェクト、NGO</p>	<p>講義</p> <p>○小原</p>
7 (/) 8 (/)	<p>災害現場の実際</p> <p>①実際の災害現場の状況</p> <p>②災害に対する自衛隊の役割</p> <p>③災害現場での留意事項</p> <p>⑤自衛隊と国際的援助活動</p>	<p>【予習】近年の災害における自衛隊の活動について考えてくる。</p> <p>【復習】実際の災害現場における活動を知り、災害に対する心構えを考える。</p> <p>【キーワード】自衛隊、緊急援助活動、東日本大震災</p>	<p>講義</p> <p>○外部講師</p>